

災害の型	災害の程度	当日の作業	対象機械	経験年数
感電	32才作業員・死亡	バイブロハンマ シートパイル抜き	トラッククレーン(20t)	14年
発生状況			要因	
<p>夜間作業で、作業開始の前に、地上12mの高圧架空線(6,600V)の絶縁防護管が1.5mずれているのを発見し、職長に連絡した。職長は「電力会社は明日昼間でないと来ない。このまま注意して作業せよ」と言って他の作業所へ行った。その後、数本は無事引抜きが終わり、オペがバイブロハンマを下げた時、吊りワイヤロープが防護管のない高圧線に接触した。その時バイブロハンマをセットしようとして作業していた被災者が感電死亡した。</p>			<p>① 当日は工事完成引渡し1週間前の突貫工事で工程に追われ、注意が散漫であった。 ② 照明は1ヶ所のみで暗かった。 ③ オペレータは2ヶ月前に免許取得したばかりで不慣れであった。</p>	
対策	<p>① 夜間作業のため、照明設備の充実。 ② 防護管がずれていたら作業の完全中止か養生を行ってから作業する。 ③ 合図の確認、立会人の設置。 ④ 職長は昼間のうちに現場を確認しておく。</p>			
				